

専大スポーツ

No. 266

「専修大学」体育会ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/campuslife/sports_info/index.html

卓球・第1回アジア大学選手権

日本代表 杉本、ダブルス準優勝



▲ 喜びのピースサインを見せる杉本(右)

今回、日本代表として、貴重な経験を積んだ杉本。主将として、これまで以上に卓球部を引っ張ってほしい。馬場 雄也・ネット情報(2)

関東学生卓球新人戦 女子単で樽見が3位 複も天野とペアで3位

関東学生卓球新人選手権大会が4月28日から30日まで、駒沢オリンピック公園屋内球技場で行われた。専大からは男子12人、女子3人が出場し、女子ダブルスで樽見早由利(文1・富田高)、女子ダブルスで天野友未(文1・日南学園高)・樽見組がそれぞれ3位という好成績を残した。樽見は「シングルスはここまで良い成績を残せなかった」と話した。



▲ カップを手に歓喜の相羽(左)、松重

テニス・東京オープン(女子) 相羽・松重組が優勝

東京オープンテニス選手権が4月16日から27日まで、東京都の有明テニスの森で行われ、女子ダブルスで相羽望(文4・秀明英光高)・松重貴子(文2・秀明英光高)ペアが優勝を挙げた。準決勝を6-1、6-0で突破するなど、危なげなく決勝に進出。苦戦したものの、6-4、7-5で決勝を制した。相羽は「体調が良く、実力を発揮できた。途中、雨で中断になったりもしたが、前向きに考えることができ、成長を実感できた」と話した。

フェンシング・関東学生リーグ 男子がフルレ準優勝



▲ チームの準優勝に貢献した 阪野弘和(右)

関東学生フェンシングリーグ戦が5月1日から6日まで、駒沢オリンピック公園屋内球技場ほかで行われた。専大は男女とも全3種目、6チームで争われる1部リーグで出場。男子はフルレ準優勝、ダブルス4位、エペ5位、3種目総合で3位という好成績を残した。男子主将の田端洋平(経営4・武生商高)は「フルレの準優勝は良かった。昨年よりも練習量を増やしたが、優勝には手が届かず残念。まだまだ実力不足です」と、女子主将の高橋南(文4・聖霊女子短大付高)は「全種目で1部残留を果たし良かった。フルレは1位と勝率が並んで3位だったのが悔しいが、次は優勝を狙える位置。前向きにとらえたい」とそれぞれ今大会の結果について語った。(馬場 雄也写真)

レスリング・JOC杯ジュニアオリンピック・全日本ジュニアフリー120kg級 グレコ96kg級 グレコ120kg級 荒木田、中谷、平川が優勝



4月26、27日、JOC杯ジュニアオリンピック・全日本ジュニアレスリング選手権が横浜文化体育館で行われ、専大勢が健闘し、フリースタイル(以下フリー)120kg級の荒木田進謙(経済3・光星学院高)、グレコローマンスタイル(以下グレコ)96kg級の中谷月明(文3・添上高)グレコ120kg級の平川臣一(商3・三井高)が優勝。7月にトルコで行われる世界ジュニア選手権の出場権を獲得した。荒木田は大会4連覇を成し遂げ、ジュニアの部のオリンピック・ゴールドメダルを受賞。「気分わず、自分の試合運びができました。世界ジュニアでは周りの期待に応えられるように頑張ります」と語った。また、中谷、平川はともに連覇を達成。中谷は「今年も優勝を狙っていたので、連覇を達成することができてうれしいです。世界ジュニアでは上位入賞を目指します」と、平川は「二つひとつ勝つことを考えて戦いました。優勝できてほっとしています。世界ジュニアは3回目の出場なので、今年は勝利を手にしたいです」と話した。また、フリー74kg級の江藤公洋(経営2・福島高)が準優勝でアジアジュニア選手権の出場権を得たほか、フリー84kg級で鈴木聖二(経営2・岐阜工業高)、安齋雅之(経済2・専大北上高)が3位に入賞した。(庄司 亮介・文2)

水泳・日本選手権 岩崎100メートルで3位

北京五輪代表選手権を兼ねた日本選手権水泳競技大会が4月15日から20日まで、東京辰巳国際水泳場で行われ、水泳部OGの岩崎優(平20経営)が50メートル自由形で4位、同100メートルで3位に入賞した。昨年度の公式大会で標準記録を突破した選手が出場できる今大会、専大からは岩崎のほか、池永早弥佳(法3・東京立正高)が出場。岩崎が健闘し、2種目で上位入賞を果たしたものの、五輪派遣標準タイムに届かず、あと一歩のところまで代表を逃した。

男子Aブロック3位 ルーキー星が活躍



チームの両輪・星(左)と佐伯朋哉 ▲ チームの両輪・星(左)と佐伯朋哉

関東学生アーチェリーリーグ戦が3月30日から4月27日まで行われ、男子が2勝3敗で東海大との3、4位決定戦に臨み、見事勝利を収め、ブロック3位でリーグ戦を終えた。1部Aブロックの男子は開幕戦で東海大に勝利し、2連勝と良い滑り出しを見せた。第3戦の中大戦から星達也(経営1・馬頭高)がデビューし、早くもポイントゲッターとなったがチームは



▲ 攻勢をかける森美奈子(右) 結果について語った。(馬場 雄也写真)

今関満夫監督は「男女ともに精神面の強化が課題。今後の試合に向けて練習して力を付けたい」と語った。(新海 城生・経済4 写真)